

令和6年度学校評価報告書

令和7年2月20日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌北高等学校長 印

次のとおり令和6年度の学校評価（全日制課程）について報告します。

1 本年度の重点目標

|                     |
|---------------------|
| (1) 「自立した生活人」の育成    |
| (2) 「自立した学習者」の育成    |
| (3) 「自ら人生を切り拓く力」の育成 |
| (4) 生徒会活動及び部活動の充実   |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目           | 自己評価の結果                                                                                                                               | 学校関係者評価の結果                                                                                                        |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学 校 運 営        | 概ね適切に行われた。<br>日常の教育活動の取組について学校からの情報提供をよりの確に行う必要がある。                                                                                   | 自由記述欄においても多くの意見が寄せられている。ネガティブな意見も、学校における教育活動が改善されるという保護者の期待と信頼に基づくものと思われる。<br>働き方改革を進めた結果、改善が見られたことが教職員の評価に表れている。 |
| 改 善 方 策        | よりよい学校づくりに向けて教職員間、教職員と管理職間、及び地域との協働を推進する。<br>学校課題の解決に向けた校内体制が機能しており、今後も適切に推進する。<br>「働き方改革」に向けた業務の合理化・効率化のため、ワークライフバランスをより意識した取組を推進する。 |                                                                                                                   |
| 学 習 指 導        | 計画どおりに実施できた。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、効果的な教育活動を推進することができた。                                                                                   | BYOD端末の活用が1～3学年まで揃ったことで授業改善が促進され、保護者の評価が大きく伸びている。適切な教育活動、授業改善が展開されていると評価できる。                                      |
| 改 善 方 策        | 本校に定着している「ブレインズ・オン」の考え方を基に、「16の資質・能力」を育成するための授業改善を次年度も継続する。                                                                           |                                                                                                                   |
| 生 徒 指 導        | 生徒理解や教育相談、生徒会活動について、組織的に取り組むことができた。                                                                                                   | 取組結果が保護者と教職員の学校評価の一致に表れており良い半面、保護者への情報提供に課題が残る。                                                                   |
| いじめ対応          | いじめのアンケート結果に基づき、迅速かつ適切に対応した。本年度も引き続き認知件数は0であり、いじめの起こらない環境づくりができた。                                                                     | 授業におけるペアワークや学校行事における協働など、取組成果が認知件数に表れている。未然防止に向けた取組を継続してもらいたい。                                                    |
| 改 善 方 策        | 生徒理解の取組については、引き続き積極的に取り組む。<br>生徒会行事等を通じて、生徒の「居場所づくり」や「主体性」を涵養する取組を継続する。<br>生徒指導提要の改定を踏まえ未然防止・早期発見・対応・解消に向けて適切に取り組む。                   |                                                                                                                   |
| 進 路 指 導        | 生徒が主体的に進路を選択できるようにする取組を推進できた。保護者への進路情報の提供はさらに強化していく必要がある。                                                                             | 進路マップに従い進路の選択を促す面談や講習などが積極的に進められており、生徒の主体性を育んできた成果が出ている。                                                          |
| 改 善 方 策        | 進路情報の発信の在り方について、保護者等の理解と協力を得られるよう工夫・充実を図る。<br>生徒がより主体的に自己の将来を考え、保護者とともに理解を深める機会の提供に引き続き努める。                                           |                                                                                                                   |
| 健康・安全<br>指 導   | 学校行事・部活動を含め学校生活全般における感染症防止策を継続し感染症を最小限に抑えることができた。                                                                                     | 学習活動や学校行事を円滑に進められるよう、学校医との連携も密に取られており評価できる。                                                                       |
| 改 善 方 策        | 感染症拡大防止など、健康管理について生徒自身が自ら考え行動できる能力の育成を図り、併せて教員の危機管理対応力の向上を図る。                                                                         |                                                                                                                   |
| 信頼される<br>学校づくり | 概ね信頼関係はあるが、保護者来校の機会を増やし、より一層の広報活動の充実を図る。                                                                                              | 生徒・保護者と教職員間において信頼をベースに学校運営がなされており、高く評価されていることがアンケートから読み取れる。                                                       |
| 改 善 方 策        | 学校HPへの掲載について、学年や分掌・部局顧問などによる細やかな情報発信を行う。また、働き方改革に積極的に取り組み、生徒と向き合う時間の確保に向けた学校づくりを継続する。                                                 |                                                                                                                   |

3 添付資料

令和6年度 学校評価に関するアンケート集計結果（保護者・教職員）